

旭市新庁舎建設工事の進捗状況

起工式

令和元年 4 月 19 日撮影



工事の安全を祈願しました。



起工式であいさつする明智市長。

地盤改良工事

令和元年 5 月 17 日撮影



工事囲いが終わり、地盤改良工事に
使う機械が入りました。



この地盤改良に使う機械の高さは
約30メートルあります。

令和元年 6 月 17 日撮影



地盤改良工事は半分ほど進みました。



たくさんの重機がフル稼働しています。

令和元年 7月23日撮影



地盤改良工事が終わりました。



地盤改良工事に使った機械を解体しています。

杭基礎工事

令和元年 7月26日撮影



杭基礎工事が始まります。



杭基礎工事に使う機械（写真右側）を組み立てています。

令和元年 8月21日撮影



新庁舎を支える杭基礎工事は半分ほど進みました。



コンクリートの杭を地中に埋め込んでいます。

掘削工事

令和元年9月25日撮影



杭基礎工事が終わり、地下部分の掘削準備を進めています。



掘削による地盤の崩落を防止するため、鋼製の矢板を打ち込んでいます。

令和元年10月23日撮影



掘削は順調に進んでいます。



約6メートルの深さまで掘削します。
(現在約4メートル掘削)

令和元年11月15日撮影



掘削は7割ほど進みました。



重機や車両が乗る仮設の構台ができました。

 郷土愛からつなぐ未来 ず〜っと大好きなまち旭

旭市新庁舎建設「関連業務」【概要】



外観イメージ

目次

1. 什器備品の選定 《P1～P5》
2. 附帯システムの選定 《P6～P9》
 - ①議場マイクシステム
 - ②セキュリティシステム
 - ③情報表示システム
 - ④電話通信システム
3. 移転計画 《P10》
4. 概算事業費《P11》

令和元年11月22日

旭市

1. 什器備品の選定

什器備品(机や椅子、書架等)は、庁舎を利用する市民と、そこで働く職員の双方にとって、機能的で快適な環境となるよう機能性や形状などを考慮して選定します。また、既存の什器については、耐用年数等を踏まえながら可能な限り転用します。

【1階】

会計課、税務課、市民生活課、保険年金課、高齢者福祉課、社会福祉課

赤色は、新規什器
青色は、転用什器

■ 窓口

カウンター、椅子



■ 市民活動の場

テーブル、椅子



■ 待合ロビー

椅子



■ 耐火書庫

集密書架



主出入口

■ 市民憩いの場

テーブル、椅子



【2階】

子育て支援課、健康管理課、都市整備課、建設課、環境課、商工観光課、監査委員事務局

■書庫室

書架



■子育て支援センターハニカム

カウンター



授乳室椅子



■更衣室

ロッカー



■キッズコーナー



【3階】

秘書広報課、農業委員会事務局、農水産課、総務課、企画政策課、財政課、行政改革推進課

■ 執務室

書架



事務用机、ワゴン、椅子



■ 政策決定室(災害対策室)

テーブル、椅子



■ 書庫室

集密書架



【4階】

議会事務局、体育振興課、生涯学習課、学校教育課、庶務課



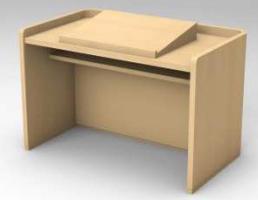
■委員会室
テーブル、椅子



■議場
机、椅子、質問席、傍聴席



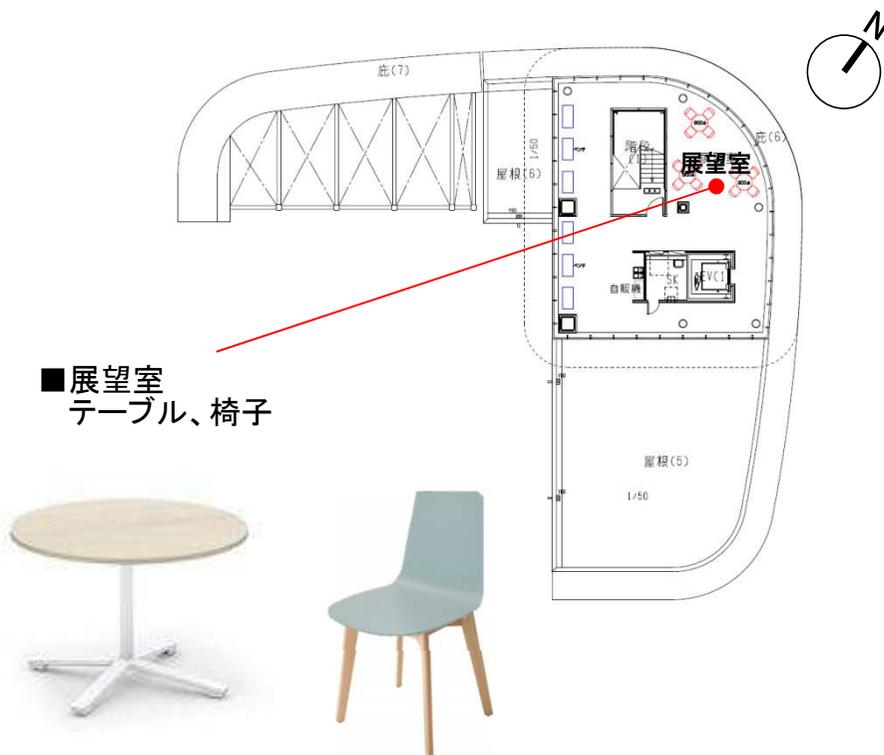
質問席



傍聴席



【屋上階】



新規・転用什器の概要

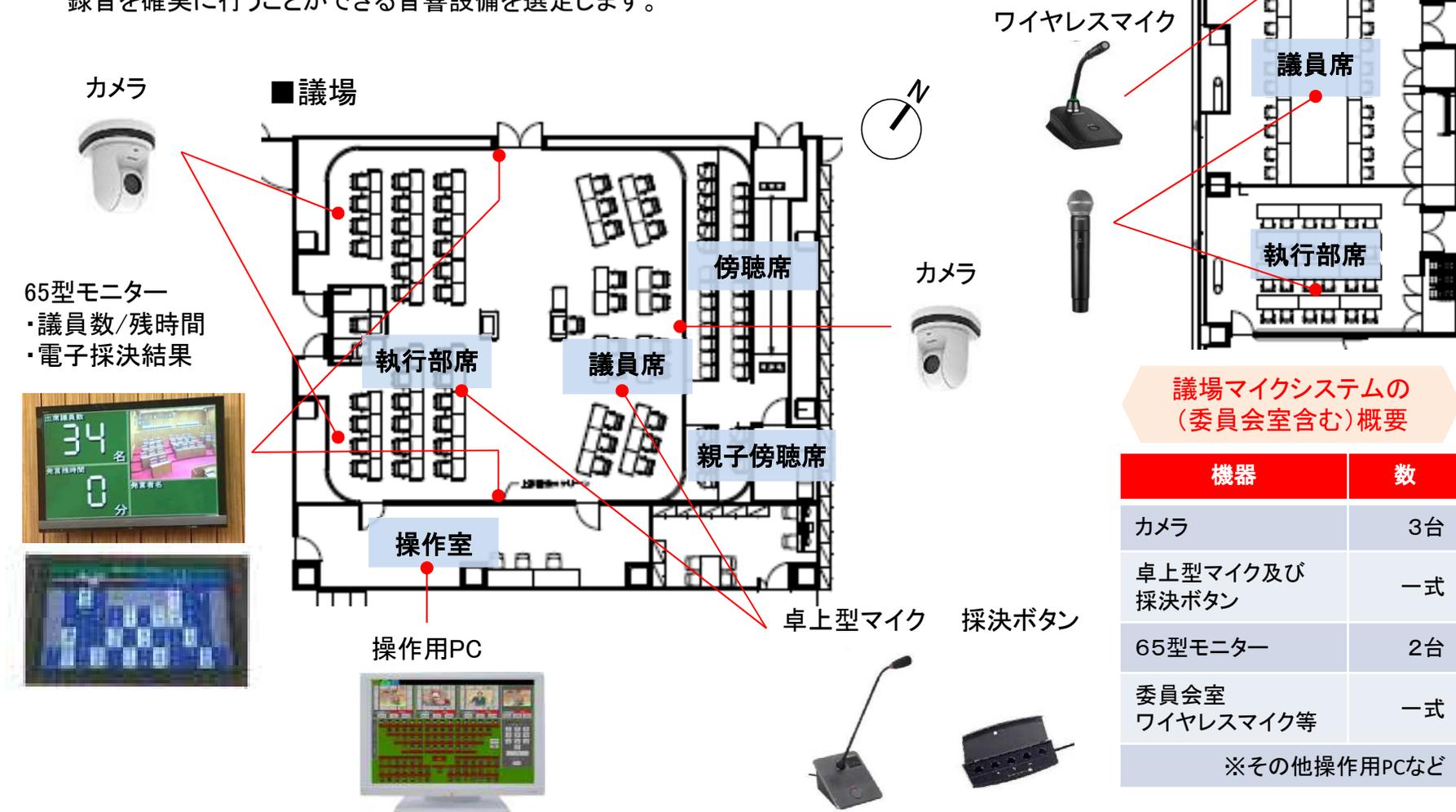
新規購入什器	数
議場机	約50台
議場椅子	約50脚
事務用机	約500台
事務用椅子	約500脚
書架	約400台
会議用テーブル	約100台
会議用椅子	約400脚
カウンターやロッカー など	約700台
計	約2,700

転用什器	数
事務用机	約40台
事務用椅子	約120脚
会議用テーブル	約160台
会議用椅子	約470脚
書架や待合椅子など	約210台
計	約1,000

2. 附帯システムの選定

①議場マイクシステム

開かれた議会を目指して、議会の映像音声や採決結果をインターネットで配信するとともに、電子採決やWi-Fi環境等も構築して議会のICT化に向けたシステムを選定します。また、委員会室は、高い音質を確保して発言を明瞭に聞き取り、かつ高品質の録音を確実に行うことができる音響設備を選定します。



②セキュリティシステム

防犯・情報保護のため、監視カメラや電気錠用カードリーダーを設置するとともに、休日等の閉庁時間でも市民が1階及び屋上階の利用ができるシステムを選定します。



ドーム型監視カメラ(屋内)



BOX型監視カメラ(屋外)



パッシブセンサー

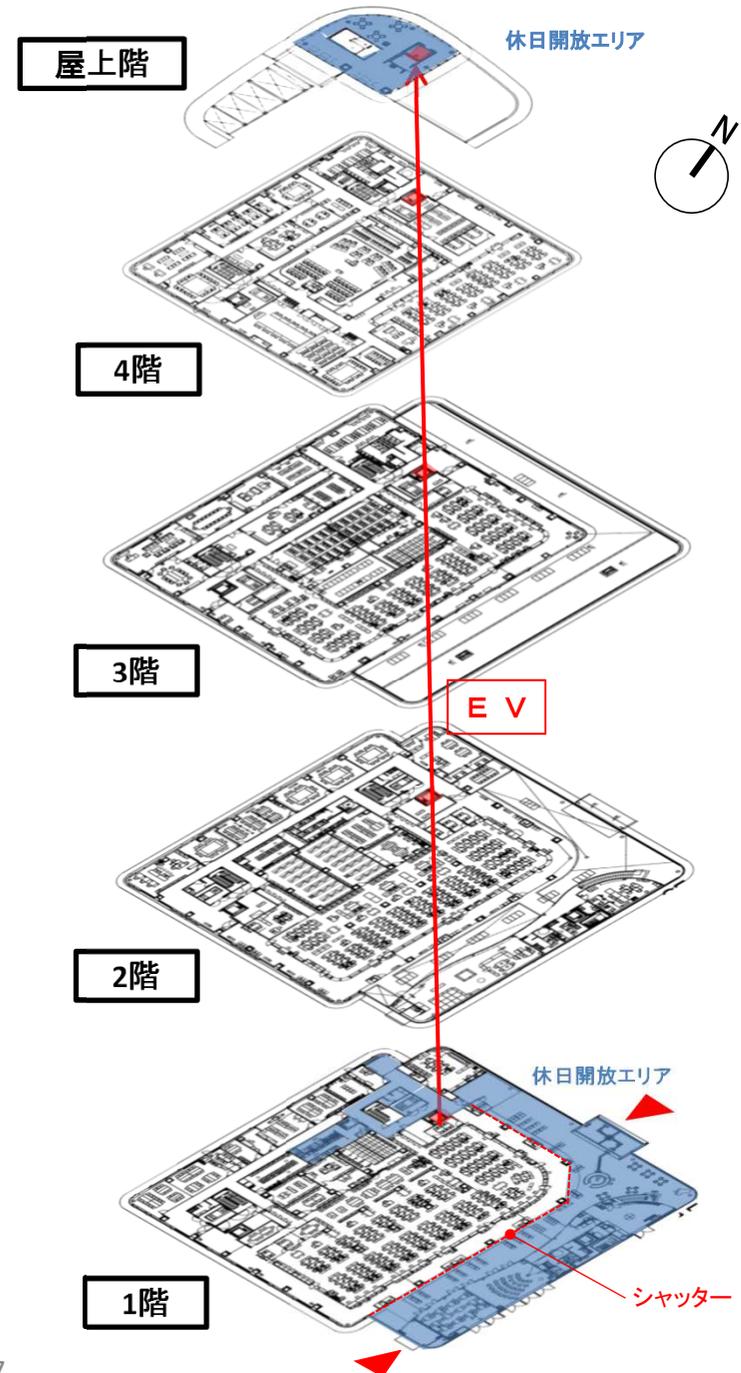


電気錠用カードリーダー

セキュリティシステムの概要

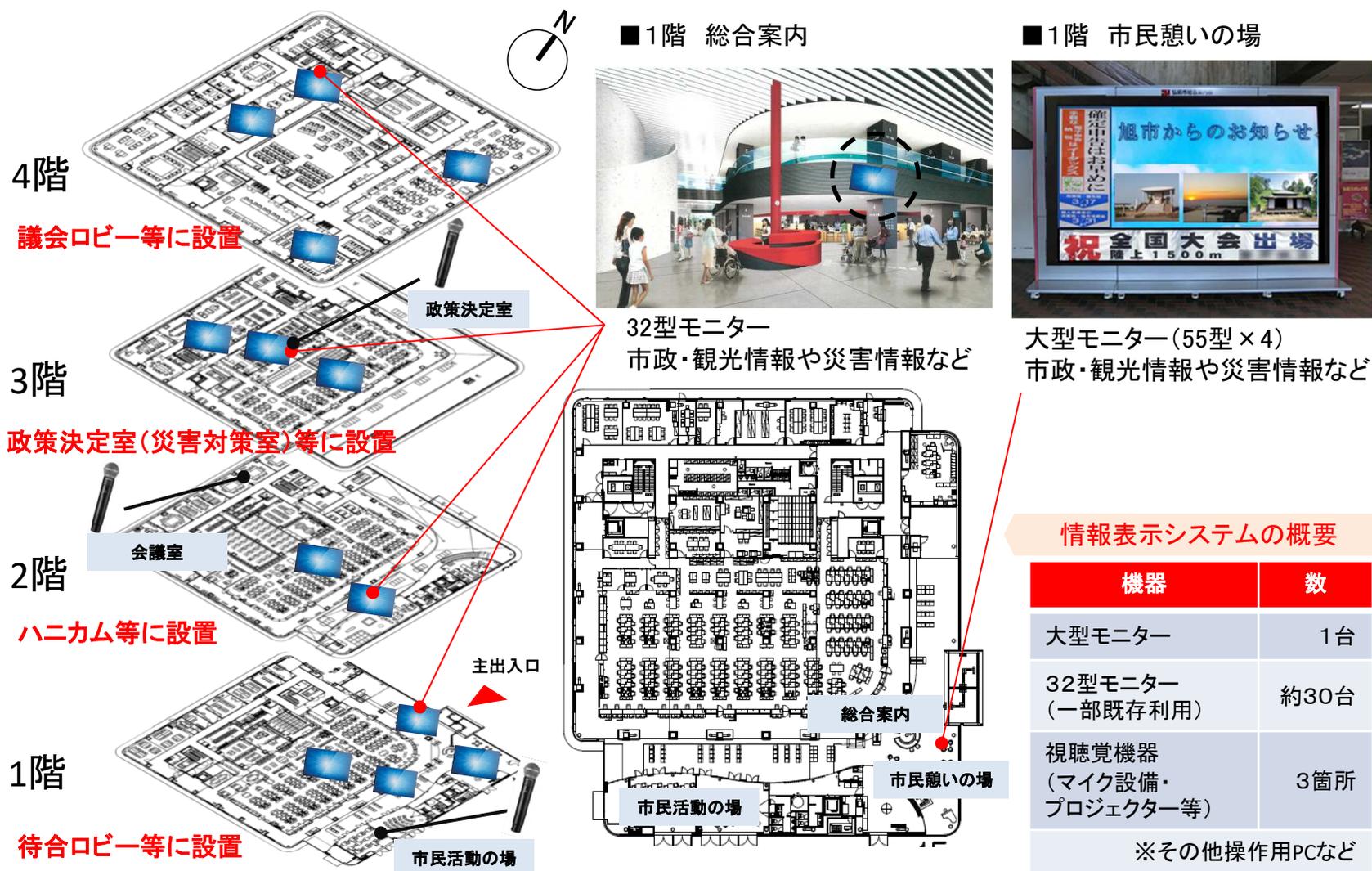
機器	数
ドーム・BOX型監視カメラ	約50台
パッシブセンサー (感知するセンサー)	約40台
電気錠用カードリーダー	約30台

※その他操作用PCなど



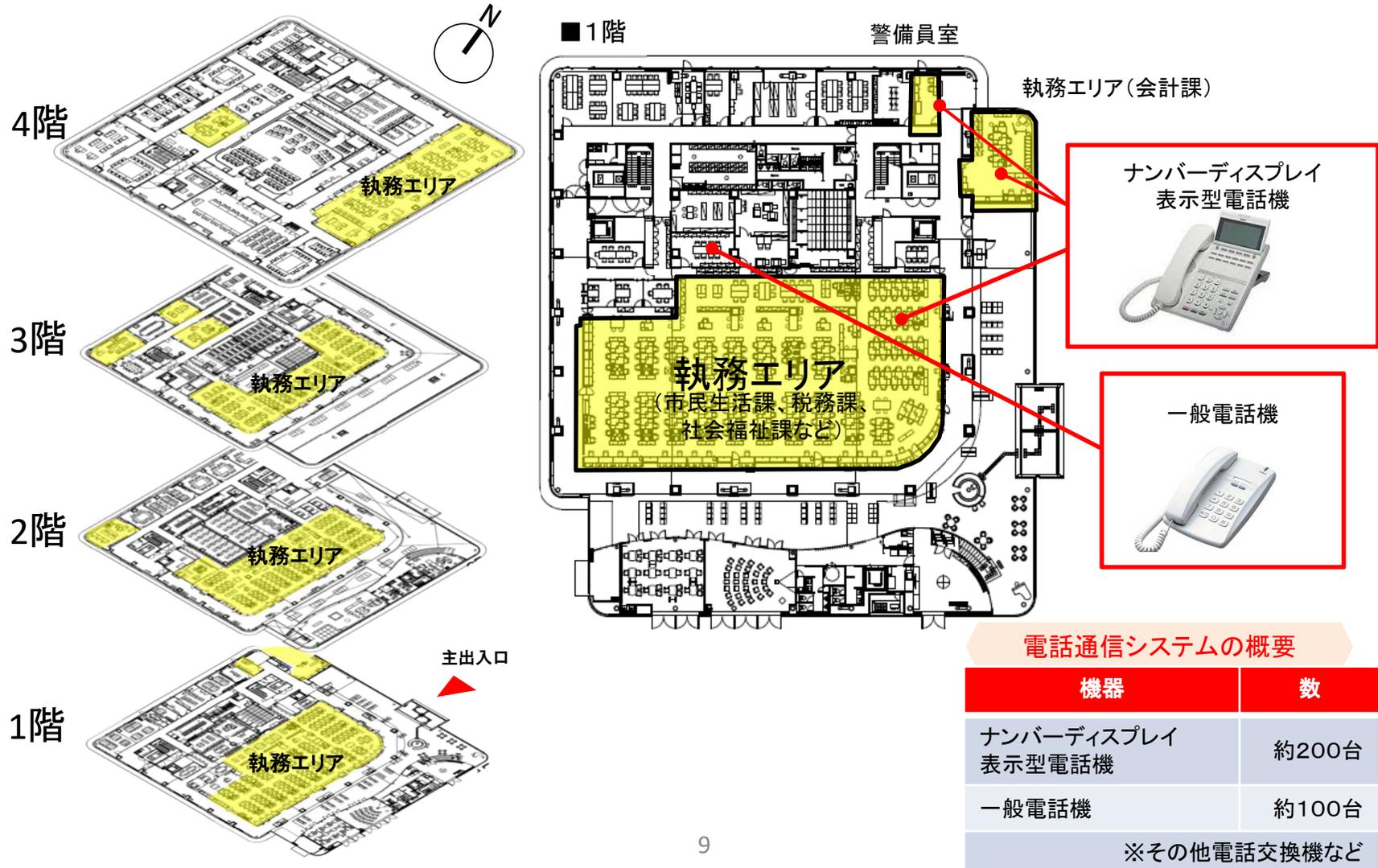
③情報表示システム

市の情報窓口として、市政や観光情報などを発信するとともに、災害時には、必要な情報を優先して発信することができるシステムを選定します。また、1階市民活動の場や3階政策決定室などに視聴覚の設備を選定します。



④電話通信システム

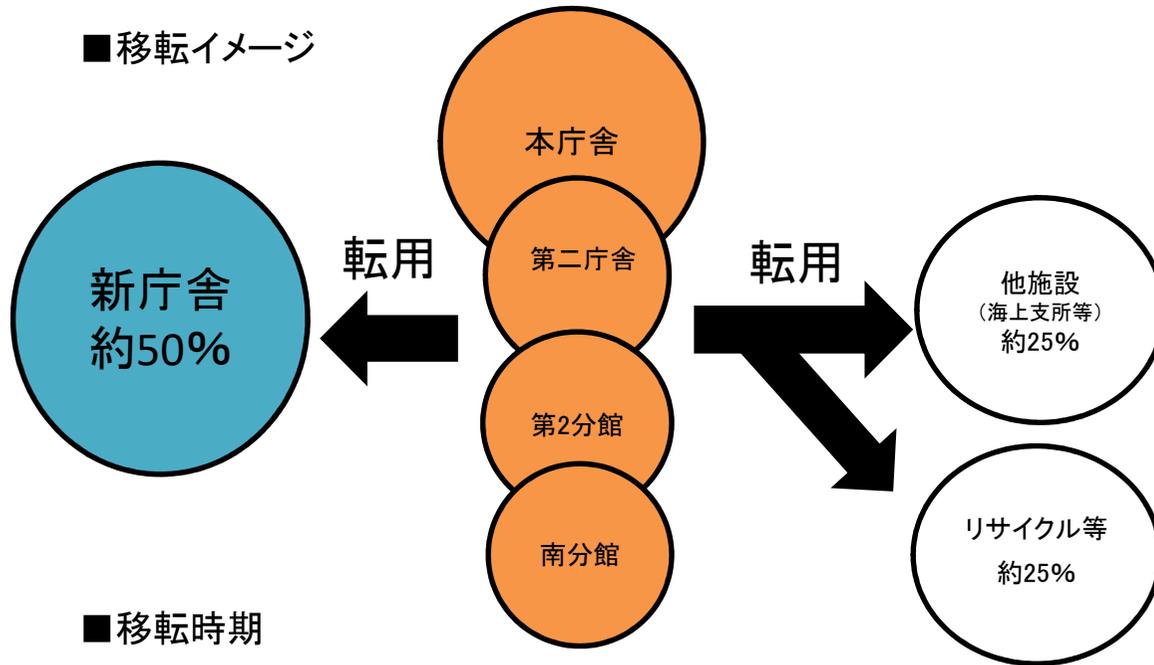
効率的な行政サービスを提供するため、問い合わせや相談を主とした執務室には、相手の電話番号の表示と、かけ直し等も可能なナンバーディスプレイに対応した電話機を選定します。また、会議室等のバックスペースには、内線通話が主となるため、シンプルな一般電話機を選定します。



3. 移転計画

新庁舎建設後に、既存施設から転用する什器備品等の移転を行います。

■ 移転イメージ



■ 移転時期

項目	令和元年度	令和2年度
建設工事	→	
移転		↔

移転計画の概要

移転物量 (新庁舎・他施設)	数
事務用机	約180台
事務用椅子	約260脚
会議用テーブル	約170台
会議用椅子	約500脚
書架や待合椅子など	約390台
計	約1,500
※その他公文書など	
移転日数	約7日

4. 概算事業費

概算事業費は以下のとおりです。

No	関連業務名	内容	概算事業費	
(1)	什器備品費	議場(机、椅子、傍聴席)、事務用(机、椅子、書架)、 会議用(テーブル、椅子)、カウンター、ロッカー等	約3億5,000万円	
(2)	附帯システム費	①議場マイクシステム 可動型カメラ、卓上型マイク、採決ボタン、モニター、 委員会室ワイヤレスマイク、操作用PC等	約5,500万円	約1億4,700万円
		②セキュリティシステム 監視カメラ、パッシブセンサー、電気錠用カードリーダー、 操作用PC等	約3,000万円	
		③情報表示システム 大型モニター、モニター、スピーカー、マイク、操作用PC等	約4,500万円	
		④電話通信システム ナンバーディスプレイ表示型電話機、一般電話機、 電話交換機等	約1,700万円	
(3)	移転費	机・椅子等 約1,500 移転日数 約7日	約1,800万円	
		合 計	約5億1,500万円	